

【薄れゆく「青い光」JCO 臨界事故 20 年】語れぬ苦しみ今も

強烈な放射線を放つ「青い光」が 2 人の命を奪い、600 人超の住民らを被ばくさせた。核燃料加工会社ジェー・シー・オー（JCO、茨城県東海村）の臨界事故から、2019 年 9 月 30 日で 20 年。未曾有の被害を出し、コントロールできない核の怖さを思い知らされたが、その 12 年後には東京電力福島第一原発事故が起きた。惨事の記憶が薄れつつある現場を歩いた。「思い出したくない」。犠牲になった作業員の大内久さん＝当時(35)＝の父親は、記者が「JCO」と言っただけで顔をゆがめた。悲しい記憶は 20 年たってもなお、遺族や関係者の口を重くしている。大量被ばくした作業員 3 人のうち唯一の生存者である横川豊さんの自宅を訪ねたが、妻が「謝罪はお断りしている」とだけ話した。

事故は 1999 年 9 月 30 日午前 10 時 35 分ごろに発生。現場の転換試験棟にいた作業員は「青い光を見た」と証言した。核分裂が継続する臨界が約 20 時間続き、放射線が出続け、10 キロ圏約 31 万人に屋内退避が求められた。「鳥も鳴かないほどの静けさだった」。試験棟から 340 メートル離れた場所に住む菓子材料卸売業の寺門孝さん（67）は、当時を振り返る。発生時は出張中で、自宅敷地内の工場にいた作業員から電話で知らせを受け、午後 6 時ごろに戻った。JCO 前の国道 6 号の交通量はなく、街が死んだようだった。健康に影響はなかったが、風評で会社の売り上げは 4 割ほどに激減した。地元の特産の干しいもなども売り上げが落ち、払拭（ふっしょく）するまで苦労した。

村の存続も危ぶまれたが、20 年がたち、村内でさえ記憶は薄れている。寺門さんは「近所の人には心の奥に当時のことをしまい、村内でも遠い場所では、JCO のことを話す機会はなくなっている」という。

「風化させるな」意志つなぐ

風化に危機感を抱くのは、被ばくした両親が健康被害を訴えていたノンフィクションライターの大泉実成さん（57）＝茨城県日立市＝だ。

「JCO 事故は日本の原子力事故史の大きなポイントだった。同じ過ちが繰り返されないよう、忘れてほしくない」と話し、地元の講演会などで両親のことを伝えている。

父親の昭一さんは試験棟から 120 メートル先にあった自動車部品工場を経営。事故後、持病の皮膚病が悪化した。経理をしていた母親の恵子さんも胃潰瘍とうつ病を発症し、2002 年には工場を畳まざるを得なくなった。2 人は JCO などに損害賠償を求めて提訴したが、最高裁は 10 年、被ばくを認めつつ健康被害との因果関係を否定し、上告を退けた。その翌年、昭一さんは亡くなった。「父は最期まで『ひどすぎる』と怒っていた。『事故を風化させないよう、よろしく頼む』と病床で母に託していた」




恵子さんは昭一さんの遺志を継ぎ、講演活動を始めたが、昨年 1 月に他界。それからは、その思いを実成さんがつないだ。「JCO のような小さい工場では事故は起きるが、原子力発電所は対策をきちんとしている」。実成さんは東京電力福島第一原発事故前に、

原子力関係者から掛けられた言葉を鮮明に覚えている。安全神話は臨界事故後もはびこっていた。記憶の風化と安全への過信が、福島原発事故につながったと考えている。
 (松村真一郎 (「東京新聞」2019年9月30日付け))

【JCO 臨界事故とは?】 1999年9月30日、茨城県東海村の核燃料加工会社ジェー・シー・オー (JCO) 東海事業所で、濃縮ウラン溶液を本来の用途と異なる「沈殿槽」に大量投入したところ臨界が発生。作業員3人が大量被ばくし、うち2人が死亡した。原子力施設の事故による急性放射線障害で犠牲者が出たのは国内初。臨界は20時間持続し、救助に当たった消防隊員や周辺住民ら667人が被ばくした。刑事裁判ではJCOと所長や現場責任者ら6人の有罪が2003年に確定。被害者に計約154億円の賠償金を支払った。JCOは住友金属鉱山の100%子会社



臨界事故を起こしたJCO=茨城県東海村で、本社へリ「あさづる」から

JCO 臨界事故後も続く原子力施設の事故や不祥事	1999年 9月30日	JCO臨界事故。作業員2人が死亡	 ①
	2002年 8月	東京電力の原発トラブル隠しが発覚	
	04年 8月 9日	関西電力美浜原発で配管の蒸気噴出事故。5人が死亡①	
	07年 3月	北陸電力志賀原発で起きた臨界事故の隠ぺいが発覚	 ② 東電提供
	11年 3月11日	東電福島第一原発事故②	
	13年 5月23日	J-PARCで放射性物質漏えい、被ばく事故	 ③ 原子力機構提供
	17年 6月 6日	原子力機構大洗研究開発センターで核物質漏えい、被ばく事故③	
	19年 1月30日	原子力機構核燃料サイクル工学研究所で核物質漏えい事故	